



校長室だより

5号

中島 悟

【キャッチフレーズ】

未来に残そう 伝え築いた 振徳商業
目指せ 三種目 日本一！

【部活動関係紹介】 陸上競技部

- 1 インタハイ突っ走った”緑の旋風”(新聞記事より) 昭和49年8月7日西日本スポーツ
- 2 陸上競技部 旧顧問 長嶺哲哉、三宅守両氏の抜粋 20周年記念誌より



インタハイ突っ走った”緑の旋風”

トラックは全国3位 (西日スポーツ新聞)

酷暑の中で熱戦を繰り広げた久留米インタハイ陸上競技も5日、4日間の幕を閉じた。記録的には低調だったが、その中からまた多くのスターも生まれた。そんなスターたちの陰で、地味に、しかし猛烈な勢いで4日間を暴れ回った”緑の旋風”が話題を呼んだ。”緑の旋風”~~スタンドの常連は、日南振徳商(宮崎)の選手たちをユニホームの色からこう呼んだ。”日南振徳商”と場内アナウンスがあるたびに常連たちは「あれっ?」と首をかしげた。陸上の全国大会でこれまでまったく聞くことのなかった校名なのである。その日南振徳商が男子学校別得点で全国7位、トラック競技では第3位という快挙をやってのけた、もちろん九州ではナンバーワンの成績。そのものの見事な躍進ぶりは~~~ 【略】

陸上競技部(一部修正)

旧顧問

長嶺哲哉、三宅守

陸上競技部は昭和45年日南振徳商業高校の新設と共に発足、翌昭和46年には監督の長嶺先生の綿密な陸上競技部強化合宿計画が実施され、グリーン旋風の幕開けの年となる。昭和47年にはグリーン旋風巻き起こる、沖水、河野、甲斐、田村、中村、元田、高橋、友納、瀬戸山の諸氏が秩父宮杯全国高等学校陸上競技選手権大会、国民体育大

会等々に出場、大活躍する。昭和48年にもグリーン旋風が吹いた。昭和49年にグリーン旋風は遂に頂点に達し、宮崎県高等学校陸上競技選手権大会において、男子総合優勝、女子総合優勝、所謂、アベック優勝という快挙をやってのけた、学校創立5年目にしての大業績に学校は勿論、地域住民にも大歓声が巻き起った。 【略】

県大会のプログラムの中にも、総合優勝、男子2回、女子1回の大記録は未来永久に残ることになります。 【略】

『振徳商陸上競技部の記録の足あと』(原文)

1. 第1回県高等学校総合体育大会 男女総合優勝

2. 全国高等学校南九州陸上競技選手権大会 男子3年連続優勝

3. 久留米インターハイ

(1) 400米リレー (甲斐・境・瀬治山・河野) 準優勝 (2) 1600米リレー (瀬治山・池田・境・河野) 第5位 (3) 400米 河野敏史 第3位 (4) 走幅跳 境 武幹 第7位

(5) トラック男子総合 第7位

4. 東京インターハイ

(1) 110Jハードル 佐藤芳孝 第6位

5. 長野インターハイ

(1) 400米リレー (外山・妹尾・竹井・池田) 第3位 (2) 1600米リレー (外山・妹尾・竹井・池田) 準優勝 (3) 200米 池田秀樹 準優勝 (4) 棒高跳 井上 敏

6. 岡山インターハイ

(1) 三段跳 後藤和正 優勝 (2) 五種競技 小玉秀明 優勝 (3) 走幅跳 後藤和正 第5位

(4) 100米ハードル 久島隆子 第 位 (5) 男子総合 第3位

後藤三段跳にて日本選手団として第1回日米ジュニアに私(麟)と米国に派遣される。

7. 日韓対抗親善陸上競技大会に日本代表選手として出場

(1) 400米リレー 酒井実男 優勝

8. 横浜インターハイ

(1) 110Jハードル 久島武士 第3位 (2) 棒高跳 稲川敏弘 第3位

9. 鹿児島インターハイ

(1) 棒高跳 稲川敏弘 第3位

国民体育大会成績

1. 青森国民体育大会	100ハードル	久島隆子	準優勝
2. 佐賀国民体育大会	棒高跳	井上 敏	優勝
3. 長野国民体育大会	100ハードル	久島隆子	6 位
4. 滋賀国民体育大会	110Jハードル	久島武士	準優勝
5. 島根国民体育大会	棒高跳	稲川敏弘	優勝